



がんばろう東北 復興の折り鶴プロジェクト 第4回 NYから被災地へ復興の願いをこめ集めます

このたび、米国での世界貿易センターの被災者達で結成された911家族会（September 11th Families' Association）が東日本大震災の被災地で、郡山市、石巻市、相馬市、新地町などを訪問し、今回で4度目となるピアサポートを通じた被災者支援を行うことのお知らせします。

記

1 訪日日程

平成27年（2015年）7月26日（日）～ 8月1日（土） 予定

2 訪日予定者

911家族会（September 11th Families' Association）

NYマウントサイナイ医科大学国際精神科所長 准教授 クレグ カッツ医師

NYマウントサイナイ医科大学内分泌科プログラム所長 准教授 柳澤ロバート医師

NJイングルウッドロータリークラブ 2013年度会長 柳澤 育代

3 訪日スケジュール 別紙添付

4 主催

米国日本人医師会（JMSA）、国際ロータリー7490地区イングルウッドロータリー（NJ）

5 協賛

アメリカン航空（Miles for Kids in Needプログラム）、米日財団（United State-Japan Foundation）、国際ロータリー グローバルグラント

6 協力団体

外務省在ニューヨーク日本国総領事館、ジャパンソサエティ（NY）、ジャムズネット、郡山西ロータリークラブ、仙台ロータリークラブ、奈良ロータリークラブ、マウントサイナイ医科大学、911家族会（September 11th Families' Association）等

7 問い合わせ先

米国日本医師会 副会長 柳澤 ロバート医師 電話 +1 - 917-538-7707

e-mail: robert.yanagisawa@mountsinai.org

米国菊一ニューヨーク兼（株）菊一文珠四郎包永 取締役社長 柳澤育代

電話 +1 - 914-450-7330（米国）0742-26-2211（日本）

e-mail: 194yanagisawa@gmail.com 090-3978-0931（日本携帯）

がんばろう東北 復興の折り鶴プロジェクト 第4回 NYから被災地へ復興の願いをこめ集めます

【主な行事】

1. 3.11 被災者と 9.11 家族会の心の交流イベント

米国同時多発テロによって沢山の同僚や家族を失った 9.11 家族会メンバーら 6 名が、被災者との対話を通じて、その悲しみを共有し、また、自らの体験からその悲しみをどのように乗り越え、未来に向かって歩きはじめたかについて被災者に語ります。米国から災害精神科医や子供の心理カウンセラーも同行し、総勢 14 名でピアサポートをします。

福島県相馬市「相馬広域こころのケアセンターなごみ」及び「新地町がんこ屋仮設住宅」、福島県郡山市「福島県立豊学校」、宮城県石巻市「震災こころのケア・ネットワークみやぎ ところステーション」などにおいて実施予定。

2. 広島-NY-福島、日米つなぐ命の絵本「サダコの折り鶴」

震災後の影響が様々な形で現れている被災地の子供たちに対し、9.11 と 3.11 をサダコの折り鶴が繋げるストーリーを長崎出身の本多恵理氏が NY で書き上げ、ロータリーが福島から出版した絵本を紹介します。絵本は 9.11 と 3.11 の被災者らが、国や文化の違いを超えて佐々木貞子の折り鶴によって結ばれ、励まされるという内容で、命の大切さを教える。協賛団体の協力を得て、福島県内の図書館、全幼稚園、全小学校に一万冊が寄贈されています。既に英語に翻訳され米国でも図書館や幼稚園に寄贈されています。これから更にポルトガル語に翻訳され、ブラジルでも出版を予定中。

3. 第 60 次式年造替の奈良春日大社での鍛冶の奉納に特別参拝

春日大社さんが、東日本大震災以来毎日欠かさことなく朝昼夜と 3 度の祈禱をされ、支援されていたことで、今迄から春日大社さんの祈禱には 9.11 家族会も参加して来ました。今回は 20 年に一度執り行われる社殿の修築大事業でこの度は第六十次式年造替に合わせて特別な鍛冶の奉納の儀式に参加します。

※ なお、一行は、7 月 31 日（金）に復興庁を表敬し、竹下復興大臣と今回の訪日の成果等について懇談する予定。